

持田製薬グループ「25-27中期経営計画」

知財・無形資産戦略の変革と将来シナリオ Geminiの分析



コア事業の収益力強化

成長事業への継続投資

経営基盤強化

成長戦略加速の3年間

「25-27中期経営計画」の位置づけ

成長戦略加速の3年間（2025-2027年）

主要戦略目標

- ✓ コア事業による着実な成長をベースとしつつ
- ✓ 次世代成長分野で新たな無形資産（特許・技術・ブランド・データ）獲得
- ✓ グローバル展開の基盤構築（3年間で基盤づくり、2028年度以降の利益貢献へ）



コア事業の収益力強化

既存無形資産の価値最大化



成長事業への継続投資

新規無形資産の創造と獲得



経営基盤強化

無形資産開発の環境整備

投資計画（25-27年）

研究開発費

360億円

設備投資

50～100億円

3つの重点テーマと知財・無形資産への影響



①コア事業の収益力強化

既存無形資産の価値最大化

- ⚙️ 特許権のライフサイクルマネジメント強化
- TM 主力製品ブランドの価値向上
- 👥 顧客ネットワークとMRノウハウの活用
- 🔍 バイオシミラー事業拡充のための製造ノウハウ獲得



②成長事業への継続投資

新規無形資産の創造と獲得

- 🧬 siRNA医薬・細胞医薬分野での先端特許ポートフォリオ構築
- 📄 バイオマテリアル領域での新規特許・製造ノウハウ獲得
- 🌐 グローバル展開のための国際的知財戦略構築
- 🤝 戦略的提携を通じた外部イノベーション取り込み



③経営基盤強化

無形資産開発の環境整備

- 👥 イノベーション創出を加速する人材育成・組織能力強化
- 💻 DX推進によるデータ資産・デジタル基盤構築
- 🏭 生産・研究設備のインフラ整備（50～100億円投資）
- 🌐 知財管理体制の進化とグローバル対応力強化

コア事業の収益力強化と無形資産戦略

📌 コア事業を支える無形資産戦略

既存の無形資産を活用して収益力を最大化するアプローチ

📌 主要製品のライフサイクルマネジメント

主要新薬5品目

ユリス オンボー コレチメント グーフィス トレプロスト

フラッグシップ医薬品

★ 高純度EPA製剤 ★ ジエノゲスト製剤

成長分野

🔗 バイオシミラー事業 🌱 ヘルスケア事業

💡 無形資産活用戦略

🔗 特許権のライフサイクルマネジメント
製法特許・用途特許による保護期間延長

TM ブランド価値の維持・向上
信頼感・ブランドロイヤルティ構築

👤 顧客ネットワークとMRノウハウ活用
医療従事者との関係強化・情報提供最適化

バイオシミラー製造・開発ノウハウ獲得
特許情報分析・効率的サプライチェーン構築

ヘルスケアブランド戦略
「コラージュフルフル」「コラージュリペア」2大ブランド育成

3年間の研究開発費：累計360億円

🔗 バイオマテリアル事業

早期上市と事業基盤整備

創出される無形資産：

🌟 新規架橋アルギン酸特許

🌟 材料応用特許

⚙️ 特殊材料製造技術

🧠 製造ノウハウ

🌐 グローバル展開も視野

🧬 核酸医薬(siRNA)

siRNA医薬のリーディングカンパニーを目指す

創出される無形資産：

🌟 siRNA配列特許

🌟 DDS技術特許

⚙️ 標的分子探索技術

🧠 配列設計ノウハウ

📋 医療的価値の高いsiRNA医薬を連続創製

🧫 細胞医薬

早期事業化と提携活用戦略

創出される無形資産：

🌟 椎間板再生特許

🌟 製造プロセス特許

⚙️ 細胞培養技術

🤝 提携ネットワーク

👥 再生医療企業との戦略的提携拡大

🌐 グローバル展開を支える無形資産戦略



国際特許・商標戦略

各国での権利取得



ブランド認知

グローバルブランディング



販売網構築

国際サプライチェーン



市場ノウハウ

各国特有の知見獲得

🚀 シナリオ1：高成長重視型

積極的イノベーションと
グローバル市場浸透

無形資産戦略の特徴：

- ✓ 成長分野での積極的特許出願
- ✓ グローバル知財権の確保・行使
- ✓ M&A・ジョイントベンチャー推進
- ✓ AI/ML技術への大規模投資
- ✓ グローバル専門人材の獲得

🔥 攻撃的知財戦略

🌐 グローバルブランド

⚖️ シナリオ2：★最も蓋然性が高い

コア事業強化と
バランスの取れた成長

無形資産戦略の特徴：

- ✓ 主要市場での強力な知財保護
- ✓ 段階的なグローバル展開
- ✓ 内部開発と戦略的提携のバランス
- ✓ 既存技術の強化と応用
- ✓ コア製品のIP管理継続

💡 バランス型技術戦略

👥 組織能力強化

🛡️ シナリオ3：保守的漸進型

慎重な基盤固めと
リスク低減

無形資産戦略の特徴：

- ✓ 国内中心の堅実な知財戦略
- ✓ 既存ブランドの価値維持
- ✓ 後発参入リスク回避重視
- ✓ コスト削減・効率化に注力
- ✓ プロセス最適化・標準化

📈 効率重視

🔒 防御的知財保護

シナリオ分析と今後の展望

コア事業の体力維持と段階的成長投資により、リスクを低減しながら
新規事業の基盤構築を図るシナリオ2が最も現実的な選択肢

💡 知財・無形資産戦略のポイント



バランスの取れた資源配分

コア事業の収益力強化と成長事業投資の両立



戦略的グローバル展開

高純度EPA製剤、ジエノゲスト製剤、バイオマテリアルを中心に



先端技術への着実な投資

siRNA医薬、細胞医薬での特許・ノウハウ蓄積



人的・組織資本の強化

イノベーション創出と生産性向上を加速する人材育成

📈 今後の展望



基盤構築期



成長加速期



2025年



2027年



2028年～

25-27中計期間

- ✓ 無形資産創出の土台構築
- ✓ コア事業収益最大化
- ✓ 成長事業への先行投資
- ✓ 知財・ノウハウの蓄積

2028年以降

- ➔ 成長事業からの本格的収益化
- ➔ グローバル市場での存在感拡大
- ➔ 革新的医薬品の継続的創出
- ➔ 無形資産価値の顕在化

“ 「25-27中計」は持続的成長への変革期 ”